平成 14 年 9 月 17 日

各位

移転しました:横浜市西区みなとみらい2丁目2番1号 横浜市神奈川区新浦島町一丁目一 式 会 社 ステ 口 代表取締役社長 挽 愛 親 (大証N J コード番号: 2317) 問い合わせ先 取締役管理部長 川口幸久 雷 話 番 号 移転しました 045 (640) 1401

組込み Linux 業務提携のお知らせ

当社と株式会社アックス(以下、アックス)は、今後の組込み Linux の普及に関して業務提携を行う 旨合意し、その第一弾として、組込み Linux 向け教育コースを開設することを平成 14 年 9 月 17 日開催 の当社取締役会で決議致しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 業務提携の趣旨

これは、両社が今後組込み Linux を利用した機器の開発が急速に増加することを予想し、Linux の技術を持った組込みエンジニアの早期養成を図るべく、協議を進めてきた結果、その考え方・方向性で一致できたところによるものであります。

本合意は、組込み Linux のコア技術を持つアックスが、カリキュラム設定及び資格認定を行い、 組込み技術者の養成や教育コースの実績及びノウハウのある当社が、教育コースを運営し、Linux 以外の組込みOSの経験者やPCベースの Linux の開発者など幅広い技術者を対象とすることで、 組込み Linux 技術者の裾野を広げ、Linux 市場のより一層の拡大を目指したものであります。

又、当社といたしましても、当該案件を通じて、今後の組込み Linux 関連開発の受注増を図ってまいります。

尚、組込み Linux の今後の展開に関しては、添付の別紙をご参照下さい。

2. 提携の内容

教育コースは、「組込み Linux の概要(基礎編)」から「GUIプログラム(応用編)」まで 5 体系を構成し、期間は 10 万円よりなり、教育コースを通じて組込み Linux の習得を確実にするため、「組込み Linux の概要(基礎編)」以外のコースについては、コース終了後に認定試験を実施致します。

又、具体的な教育コースの説明に関しては、添付の別紙をご参照下さい。

3. 提携による売上高の影響

平成 14 年 11 月 15 日より当該教育コースを開催し、初年度としては来期(平成 15 年 10 月期)で、売上高として 40,000 千円を予定しております。

4. 提携先の概要

(2)代表者竹岡尚三

(3)所 在 地 京都府京都市中京区烏丸通二条上ル蒔絵屋町 280

(4) 設 立 年 月 日 平成4年 4月 15日

(5) 主な事業の内容 OS、プログラミング言語処理系、プログラミング環境、Linux

システムの開発。並列計算機の設計・開発など

(6) 決 算 期 3月

(7) 従業員数34名(平成14年9月2日現在)

(8)資本 金 190,500千円

※(注)1. 平成14年9月17日現在、資本的関係、人的関係はありません。

2. 同社の強みに関しては、別紙を参照下さい。

以 上

別紙

■組込み Linux 今後の展開

現在サーバ用途を中心に Linux を採用する企業が増加しております。たとえば、調査会社 IDC Japan による平成 12 年の国内 PC サーバーO S 市場調査では、平成 12 年のライセンス出荷本数は 53 万強であり、O S 別では Linux が急成長しております。O S 別シェアでは、Windows NT Server が 60.9%、Windows 2000 Server が 18.3%、UNIX が 9.4%、そして Linux が 7.8%です。平成 11 年度の実績では、NT はシェアが 81.3%でライセンス数が 34 万 1061 本、UNIX は 10.1%、 4 万 2500 本、Linux が 4 %、1 万 6858 本でした。

この流れを受けて、組込み分野でも、OSとしてLinuxを採用した製品の開発や出荷が始まっております。Linux はインターネットでの標準プロトコルである IPv4、そして次世代の IPv6 を標準で装備しており、通信機能を備えた機器の開発では多くのメリットがあります。

又、GUI機能も標準で備えるため、豊富な機能を持つユーザーインターフェイスの開発が容易になります。これらの利点を生かして、Linux はその適用範囲を情報家電や通信インフラなどへと拡大しております。調査会社 IDC Japan によれば、組み込み市場自体も平成 17 年までに 150%の成長が見込まれ、その中で Linux が占める比率も今後 2 年間で 36%まで伸びると予想されています。

このように、組込み Linux を利用した機器の開発が急速に増えると予想されるため、Linux の技術を持った組込みエンジニアの養成が急務となっており、本教育コースでは、実践的なコースを取りそろえ、これらのニーズを満たしていくつもりです。

又、当社においても、当該案件を通じて、Linux の技術を持った組込みエンジニアを早急に養成してまいります。

■教育コースについて

本教育コースは、初級・中級・上級の計5コースからなり、内容は以下のとおりです。

コース名		概要	日数	料金	認定料
初級	組込み Linux の概要	組込み Linux の開発に必要な基礎知識の習得を目指す。	1 日間	10 万円	認定なし
中級	組込み Linux プログラミング	組込み Linux の構造や機能を実際のプログラミング実習を 通じて習得する。	2 日間	24 万円 (ボード代込)	2 万円
上級	システム/ネットワーク・プログラミング +ネットワーク構築	Linux のシステムコールを使ったプログラミングを学習する。 プログラミング実習により、プロセス管理やプロセス間通信、 socket などを利用したネットワーク・プログラミングを習得する。 また、ネットワークを利用したプログラムの開発やデバッグが 可能なネットワークの構築を体験する。	2 日間	20 万円	2 万円
	デバイスドライバ開発	組込み機器では必須なデバイスドライバ開発の基礎から 応用までを習得する。			
	GUI プログラミング	組込み機器、携帯機器に特有な GUI プログラミングを実習を 通じて習得する。			

各教育コースを通じて組込み Linux の習得を確実にするため、「組込み Linux の概要(初級)」以外のコースについては、コース終了後に認定試験を実施致します。

また、合格したコースにより次のような資格を付与いたします。この資格により、組込み Linux 技術者のレベルを確実に把握することができます。

1. シルバー

「組込み Linux プログラミング(中級)」コースに合格した者。 組込み Linux の開発チームの一員としての最低限の能力を有するエンジニアです。

2. ゴールド

シルバーの資格を持ち、かつ「システム/ネットワーク・プログラミング(上級)」、「デバイスドライバ開発(上級)」、「GUIプログラミング(上級)」のいずれかのコースに合格した者。 組込み Linux の開発において、専門的な知識を生かした開発が可能なエンジニアです。

3. プラチナ

ゴールドの資格を持ち、かつ全てのコースに合格した者。 ほぼ全ての組込み Linux の開発が可能なエンジニアです。

■アックスの強み

- 1. 高い技術力
- 2. 豊富な実績

高い技術力をバックに、axLinux や式神に代表される組込み Linux 分野で核となるソフトウェアを自 社で開発し提供しています。

axLinux は、日本メーカー独自の CPU などに積極的に対応し、その技術力は高く評価されております。 実績につきましては、axLinux は富士通の FR-V や日立製作所の SH-Mobile、セイコーエプソンの 1C33 と S1C38、シャープの LH7953x の Linux として採用されております。

又、式神は、日立超 LSI システムズ様の SuperH Linux のGUI として採用されております。

組込みの分野では 10 年以上の実績があり、たとえばPDAとして有名なザウルスのOSは、同社の独自の組込向けOSである XTAL です。

得意分野としてましては、次のようなものがあります。

- 1. 組込み Linux と組込み/携帯機器向けのGUI
- 2. Unix 全般
- 3. TCP/IP ネットワーク全般 特に最近は、組込み分野での IPv6 のお問い合わせを多数いただいております。
- 4. Java

オムロン様の組込向け Java チップであります Jwand の TCP/IP スタックは、同社の TCP/IP スタックであります AXE TCP を使って頂いております。

以上